

岡谷小学校移転検討資料



1/2000

【岡谷小学校移転における、必要な機能と適正規模】

○児童数と学級数の見込み

	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
児童数(人)	270	262	280	280	270	264	259
学級数	12	12	13	13	13	13	13
普通学級	11	11	12	12	12	12	12
特別支援学級	1	1	1	1	1	1	1

*基準日は5月1日

○必要な機能と規模(上記の見込みより、移転後については普通学級12、特別支援学級2、児童数290人として計算)

	移転後			(現)岡谷小学校		T小学校		移転後における必要面積 建築延面積(m ²)
	室数	建築延面積(m ²)	敷地面積(m ²)	室数	建築延面積(m ²)	敷地面積(m ²)	敷地面積(m ²)	
教室								5,000
普通教室	12			11				
特別支援教室	2	5,000		1	6,558		5,614	
少人数教室	3			1				
特別教室及び準備室	13	(17.2m ² /1人)	5,900	25	(24.3m ² /1人)		(16.5m ² /1人)	
事務室等	8			12				
その他(給食室、廊下、階段室等)								
運動場等		1,200	7,600		7,600			
体育館	1	1,200	2,000	2	2,000			
校庭	1	-	4,600	1	4,600			
プール	2	-	1,000	2	1,000			

*必要面積は、義務教育諸学校等の施設費の国庫負担等に関する法律施行令第7条(学級数に応ずる必要面積)に基づく面積

○義務教育諸学校等の施設費の国庫負担等に関する法律施行令第7条(学級数に応ずる必要面積)に基づく「必要面積」

学校名	岡谷小学校
学級数	12
特別支援学級数	2
必要面積	5,200 m ² (③+④)

◎必要面積積算根拠

【普通教室12学級】

$$3,881 \text{ m}^2 + 187 \text{ m}^2 \times \left(\frac{12}{\text{学級数}} - 12 \right) = 3,881 \text{ m}^2 \dots \text{①}$$

【特別支援学級加算分】

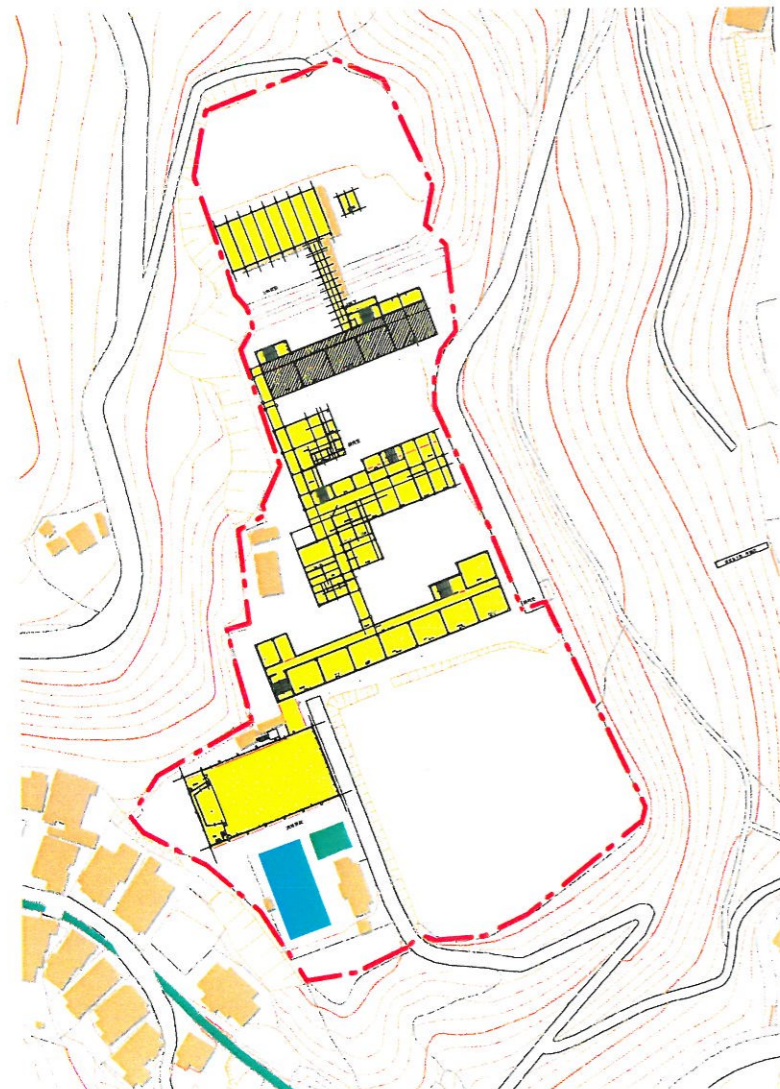
$$168 \text{ m}^2 \times 2 \times \text{学級数} = 336 \text{ m}^2 \dots \text{②}$$

【少人数授業対応多目的教室設置係数(①+②)×1.180】

$$(3,881 + 336) \times 1.180 = 4,976 \text{ m}^2 \dots \text{③}$$

【積雪寒冷地補正】

$$16 \text{ m}^2 \times 14 = 224 \text{ m}^2 \dots \text{④}$$



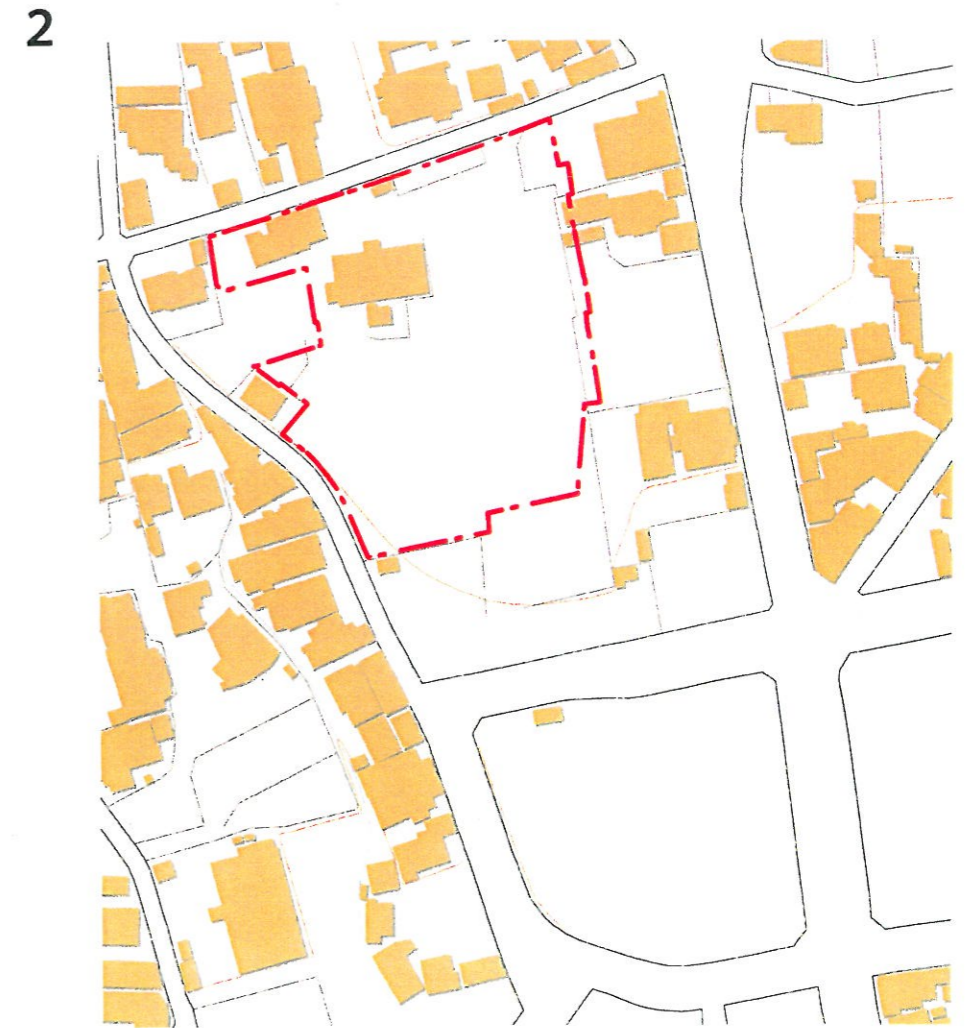
岡谷小学校 (既存)

敷地面積 約45,000m²
(平坦地 約19,000m²)
建築延面積 約 7,763m²
用途地域 第一種低層住居専用地域



駅南地区

敷地面積 約 7,100m²
用途地域 商業地域



中央町地区

敷地面積 約 7,800m²
用途地域 商業地域